

食に関する個別的な対応の取組

食への興味を引き出すパクンパワーボックス

食に関する指導として児童への個別的な相談指導がある。食物アレルギー児や肥満傾向児については、担任、養護教諭等と連携し学校全体として取り組んでいる。

また、これに加えて、本校では、児童がもっている食に関しての意見や疑問又は要望について、個別的に対応することとして、全校児童を対象に、子どもの自発的な食に関する問いに答え、食への興味を引き出すためにパクンパワーボックスを設置した。

パクンパワーボックス設置のねらい

- 児童一人一人との結びつきをつくっていくことができる。
- 児童の意見を給食に反映できる。
- 児童を通して家庭に啓発できる。



パクンパワーつうしん

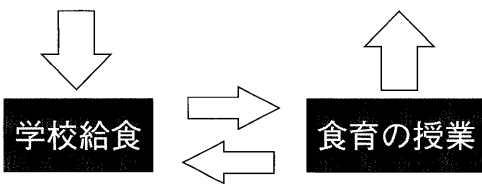
3年1組〇〇さん

Q、魚には、どんなえいようがはいつているのですか？

A、お魚にはいろんなえいようがふくまれています。私たちの体を作るもと。ほねやはをじょうぶにするもと。あたまのはたらしきを良くするもと。そのほかにもいろんなえいようがたくさんふくまれています。けんこうに良いお魚をたくさん食べましょうね。



こたじま



保護者からのご意見

- 先生に質問して、回答頂いた用紙を持ち帰って見せてくれるので、その際に食について良くお話をします。
- 好き嫌いのアドバイスを頂いて、少しでも食べようと努力しているようです。
- 「ポトフを出して」とパクンパワーつうしんに書いたら、子どもの要望を聞いてもらってすごく喜んでいました。

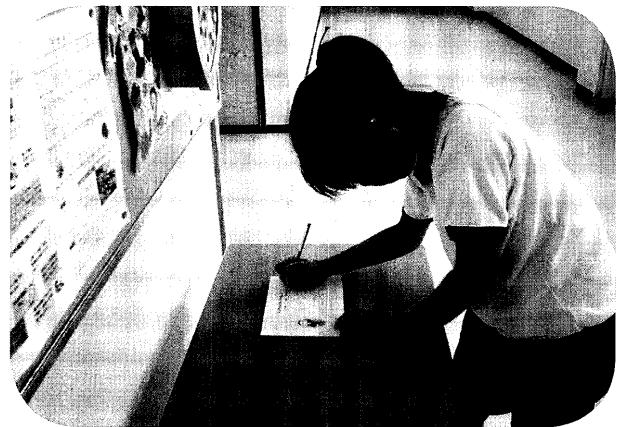
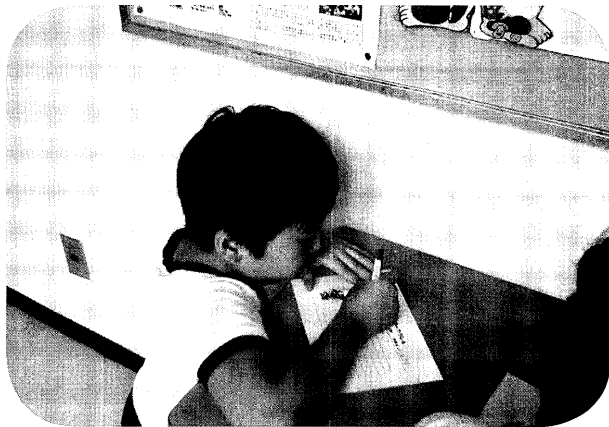
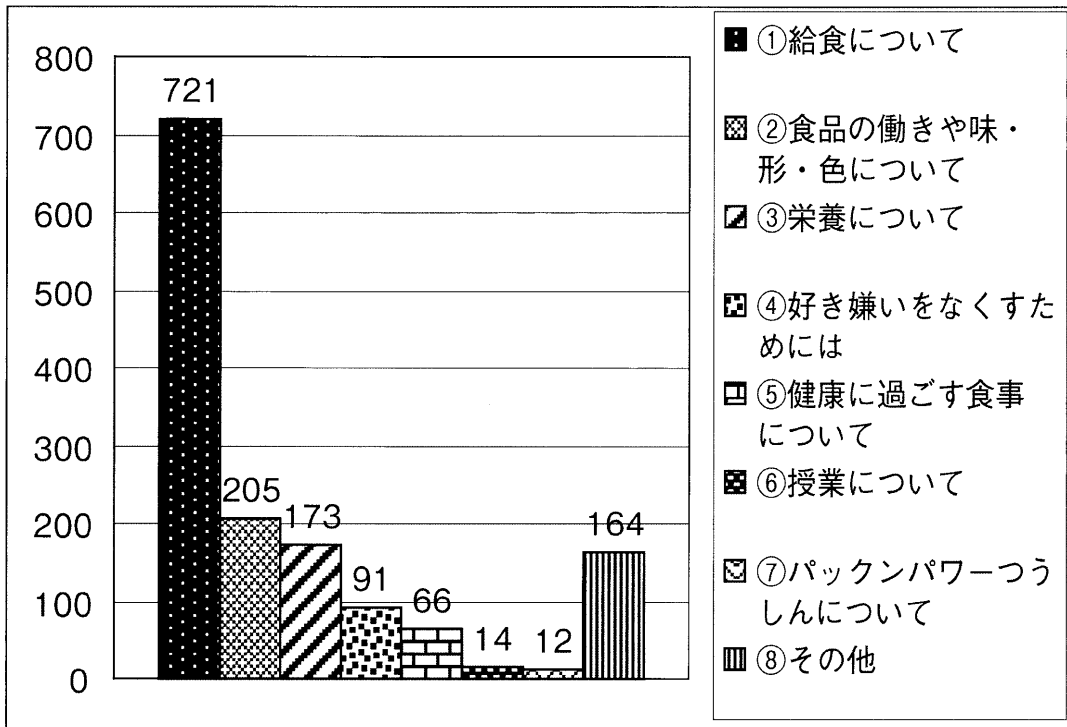
家庭へ



給食時間、本人に手渡しをする。



1年間のパクンパワーボックス投稿内容一覧



成 果

- 1年間で投稿数は1443通に達し、一人一人の子どもの質問に答えることができた。
- 一人一人の意見から児童全体の実態を把握し、食に関する指導等に生かすことができる。
- 子どもの要望を給食のメニューに取り入れることにより、給食が子どもにとってより楽しみなものになっている。
- 食に関する意識を高めることができた。

課 題

- 短い文の中で、子どもの望んでいる内容についていかに的確な回答をすることができるのか。そのためには、子どもを知り知識を深め、表現力を身につけることが大切である。
- マンネリ化しないように、パクンパワーボックスを活用し、子どもに魅力的な企画を考えたい。